

新着図書案内

2019年8月発行



『文学の中の家』

『自分だけの部屋』を装飾する方法』

「高慢と偏見」のヒロイン、エリザベスが恋に落ちたのはダーシーの美しい家? ジェーン・エアが語る、理想の家庭教師の部屋とは? 名作文学の中の登場人物たちが、自らの住まいをブラックユーモアたっぷりに紹介する。

スーザン ハーラン // 著 ベッカ スタッドランダー // イラスト 富原 まさ江 // 訳 エクスナレッジ



『おならのサイエンス』

おならは何でできている? おならはなぜニオイ? 男性と女性のおならの違いは? ニオイを消せるパンツがある? おならを我慢するとどうなる...? おならに関するあらゆる疑問に、科学と雑学で迫る。

ステファン ゲイツ // 著 関 麻衣子 // 訳 柏書房

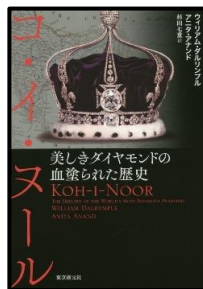


『サカナ・レッスン』

『美味しい日本で寿司に死す』

魚がこわいが、見て見ぬふりをしてきたわたし。近年、日本でも魚が苦手な人が増えてきていると知り、一步踏み出す決意をする。築地や料理教室などで苦手な魚に挑んだ体験を、大好きな日本と和食への熱い思いとともに綴る。

キャスリーン フリン // 著 村井 理子 // 訳 CCCメディアハウス

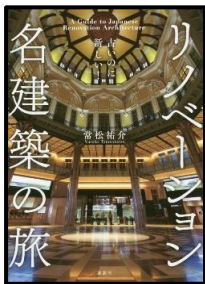


『コ・イ・ヌール』

『美しきダイヤモンドの血塗られた歴史』

暗殺、拷問、植民地支配...。インドから英国にわたるまでの数百年、その宝石はいかなる災いを人々にもたらしたのか。“光の山”という意味の巨大なダイヤモンド「コ・イ・ヌール」を巡る歴史を描く。

ウィリアム ダルリンプル // 著 アニタ アナンド // 著 杉田 七重 // 訳 東京創元社

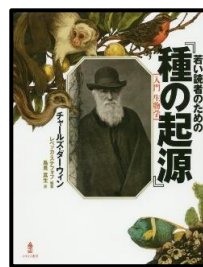


『リノベーション名建築の旅』

『古いのに新しい!』

戦前の洋館、レンガ造の紡績工場...。日本全国のリノベーション建築から22例を厳選。豊富な写真と図版、専門家ならではの深堀り解説とともに紹介する。取り上げた以外の50の事例や、用語集も収録。

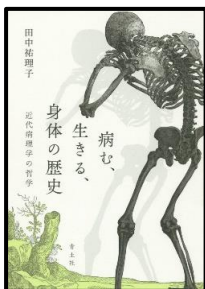
常松 祐介 // 著 講談社



『若い読者のための「種の起源」入門生物学』

ダーウィンは、どのように独自の思考を組み立てたのか? 生物学の礎「種の起源」のボリュームを圧縮し、言葉も平易に置き換えてライト。歴史的名著のエッセンスを凝縮したコンパクト版。現代科学の動向に関するコラム付き。

チャールズ ダーウィン // 著 レベッカ ステフオフ // 編著 鳥見 真生 // 訳 あすなろ書房



『病む、生きる、身体の歴史』

『近代病理学の哲学』

科学者たちは顕微鏡の中の小さな生きものを、どのように病原菌としてとらえたのか。近代は病いをいかなる言葉で語ってきたのか。微生物の発見から、「らい」と戦後日本まで、医学や身体をめぐる哲学・歴史を考察する。

田中 祐理子 // 著 青土社



『クリエイター必携ネットの権利トラブル解決の極意』

『著作物を勝手に使われたら...』

フォトグラファーやイラストレーターなど、著作権トラブルに悩むクリエイターに向け、その解決方法を紹介。情報収集から裁判まで、著者の実体験から最強の対処法を伝える。サンプルファイルのダウンロードサービス付き。

岩崎 拓哉 // 著 齋藤 理央 // 監修 秀和システム

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。または出版社より許諾を得ています。





『この数学、いったいいつ使うことになるの?』

数学の内容は、社会のどのような場面で利用され、活用されているのか。さまざまな職業に結び付けた分数、百分率、体積・容積、一次方程式などの問題を多数収録。数学の有用性を感じ得る問題集。

Hal Saunders // 著 森 園子 // 訳 猪飼 輝子 // 訳 二宮 智子 // 訳 共立出版

『日本婚活思想史序説』

戦後日本の「幸せになりたい」

2000年代末に生じた婚活ブーム、いわば「婚活1.0」に先駆けて存在した1980年代の結婚論ブームを「婚活0.0」と呼んで、結婚への視線や婚活の論理がどのように変化してきたのか、その潮流を読み解く。

佐藤 信 // 著 東洋経済新報社

『父親の科学』

見直される男親の子育て

父親は子育てに本当に必要なのか? これまで見過ごされがちだった男親の育児の価値を、5人の子供の父親である著者が科学の視点で徹底検証。〈意外にすごい〉お父さんの役割を明らかにする。

ポール レイバーン // 著 東 竜ノ介 // 訳 白揚社

『鳥頭なんて誰が言った?』

動物の「知能」にかんする大いなる誤解

ヒトが万物の霊長なんて大嘘。タオルを使うツル、投げ縄を投げるクモなど、行動進化学の最前線からは、動物たちの知的行動が日々明らかにされている。私たちが抱く先入観と俗説の嘘を暴く。

エマニュエル プイドバ // 著 松永りえ // 訳 早川書房

『看板建築』

昭和の商店と暮らし 味なたてもの探訪

建物自体は和風だが、正面部分を一枚の看板のように装飾した「看板建築」。現存する看板建築10店舗の店主の思いや、懐かしき街風景のアーカイブ、コラムなどを収録する。データ:2019年5月現在。

萩野 正和 // 監修 トゥーヴァージンズ



『地理が解き明かす地球の風景』

山はなぜできる? 日本の森はなぜ美しい? 米どころはなぜ北にある? 風景の成り立ちを解き明かすカギは、「地理」の知識。地理の基礎を、人に話したくなるストーリーとともに伝える。

松本 穂高 // 著 ベレ出版

『世界のシンデレラ』

かわたまさなおコレクション

百年以上前に出版された貴重な絵本から近代までに世界各国で出版された絵本を中心に、演劇、パレエのポスターやパンフレット、陶器、おもちゃなど、シンデレラにまつわるコレクションを紹介する。綴じ込み絵本付き。

川田 雅直 // 著 PHPエディターズ・グループ

『コピーライターほぼ全史』

広告文案家から始まった黎明期、経済成長とともに円熟し、独特の言語表現となった時代…。「コピー年鑑」を中心に、半世紀に亘る日本の広告を年代ごとにピックアップ。コピーライターたちの活躍とその歴史を振り返る。

東京コピーライターズクラブ // 編 鈴木 隆祐 // 取材 文 日本経済新聞出版社

『ヴェルサイユ宮殿』

39の伝説とその真実

多くの伝説が語りつがれてきたヴェルサイユ宮殿。「銀で満たされていた」「リユリしか演奏されない」「いつも祝宴が行われていた」「汚かった」「ナポレオンは嫌っていた」などの伝説を取り上げ、その真実を明らかにする。

ジャン=フランソワ ソルノン // 著 土居 佳代子 // 訳 原書房

『天皇が東京にやって来た!』

錦絵解析

東京に新たな権威として立ち現れた天皇と、迎える民衆について、蒐集した原文書のうえに東幸錦絵を載せて解析。板元・絵師らを含めた江戸・東京市民の激変する生活実態を、リアルに把握・提示する。

奈倉 哲三 // 著 東京堂出版

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。

